



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.34

戦争法案の廃案に総力あげる

特別決議

全労連第52回評議員会

**「職場・地域のすみずみから『戦争法案 NO!』の声と運動を湧きおこし
憲法違反の戦争法案を必ず廃案にし、憲法9条を守りぬこう」**

全労連第52回評議員会が7月30～31日、東京都の第一ホテル東京で開かれました。

小田川義和議長はあいさつで、昨年7月の大会から1年間を振り返り、安倍暴走政治とのたたかいで、民主団体とのさらなる共同、長らく実現できなかった壁を戦争法案反対の一点で乗り越え護憲勢力の総結集で結成された「総がかり行動実行委員会」、12の課題から安倍政権ノーマットの政治的要求をつなぐ実行委員会の結成など「様々な形態の共同を前進・発展させ、中央段階でも地方段階でも国民的な運動の一翼を担ってきた」と評価しました。そして、「憲法違反、戦後最悪の法律、戦争法案の廃案に全労連の総力をあげる決意を固めよう」と呼びかけました。

方針の補強案を提案した井上久事務局長は、「戦争する国」づくりを阻止するため、職場・地域から全組合員参加でたたかいに集中しようと提起。全国一律最低賃金制の実現をはじめ、全労働者の賃金底上げ、労働時間短縮と上限規制を軸にした働くルールの確立、安倍「雇用改革」阻止、持続可能な地域社会への転換を求めるとりくみの強化などを呼びかけました。

＜戦争法案廃案に向けた決意相次ぐ＞

討論では、戦争法案廃案に向けた決意が相次ぎました。自治労連の代表は「二度と赤紙（召集令状）も白紙（徴用令状）も配らない」と誓い、首長から平和を願うメッセージを寄せられていると報告。全教の代表は、全教職員との総対話としての「全国教職員投票」がかつてない広がりを見せていると紹介。全印総連の代表は、「労働組合は何をしなければいけないのか」と率直な議論をへてストライキ権を確立し、行使していると語りました。

京都総評の代表は、国会議員が地元に戻る時期にあわせて、地域騒然いっせいで総行動日を設定していると発言。全日本年金者組合の代表は、「戦争する国」づくりと社会保障切り捨てはセットだと指摘し、年金削減を許さない裁判闘争に全力をあげるとのべました。

JMIUの代表は、支部・分会でいっせいに緊急の職場集会を開き、戦争法案に反対する職場決議をあげ安倍首相あてに送付していることを報告。映演労連の代表は、6月22日に発表した「アピール／私たち映画人は『戦争法案』に反対します！」への賛同が700人近くになっていることを紹介し、「映演産業は、言論の自由が保障されて初めて成立する産業」として、スト権確立も視野にたたかう決意をのべました。全労連女性部の代表は、2015回憲法連続宣伝にとりくみ、現在523回になっていると報告。

医労連の代表は、「再び白衣を戦場の血で汚さない」の誓いのもと、戦争法案廃案のためスト権の確立も提起。「職場決議運動、全国一斉に多彩な行動をよびかけている」と発言。埼労連の代表は、柴田泰彦埼労連議長が8月9日投票の県知事選立候補し、埼労連として戦争法案をストップさせるために、知事選挙をたたかうことが重要と意思統一し取り組んでいると報告しました。道労連の代表は、「たたかいで若い活動家が育ってきている。また集会やデモが市民のものになったというのが実感」と報告。大阪労連の代表は、「安倍政権打倒の方針を明確に打ち出してほしい。大阪労連もその先頭に立つ決意だ」とのべました。

評議員会の最後に、特別決議「職場・地域のすみずみから『戦争法案 NO!』の声と運動を湧きおこし 憲法違反の戦争法案を必ず廃案にし、憲法 9 条を守りぬこう」を採択しました。

**【特別決議案】 職場・地域のすみずみから「戦争法案 NO!」の声と運動を湧きおこし
憲法違反の戦争法案を必ず廃案にし、憲法 9 条を守りぬこう**

「戦場に行かされるのは僕ら。僕らの未来を勝手に決めるな」。若者が「安全保障法制（＝戦争法案）を本当に止める」と声を上げ、その運動は全国に広がっています。「だれの子どももころさせない」と、若い母親が人生初めてのパレードを各地で始めています。国会周辺では、総がかり行動実行委員会が呼びかけた座り込み行動や国会包囲行動への参加者が回を重ねるごとに増え、各地の集会やパレードにも、それぞれの地域で過去最高の数の人々が結集しています。いま、国のすみずみから、「9 条守れ、戦争法案反対」の声が沸き起こり、安倍政権を追いつめています。

憲法学者も弁護士も、この安保法制は「憲法違反だ」と断じました。武器使用の拡大や「後方支援」と言う名の兵站は、憲法 9 条が禁ずる「武力の行使」そのものです。PKO 活動として、ISAF のような「治安維持活動」に参加すれば、「武力の行使」につながりかねません。そもそも、日本が攻撃されていないのに他国防衛のために戦う「集団的自衛権の行使」は明白な憲法違反です。国民は、そのことを見抜いてきています。戦後最悪の憲法違反の戦争法案は、撤回、廃案しかありません。

追いつめられた安倍政権は、国民の 8 割が「政府の説明は不十分」としているのに、衆議院採決を強行しました。民主主義、立憲主義に反する歴史的暴挙です。この暴挙は、国民の新たな怒りと不安を呼び起こし、安倍政権の支持率は急落しています。法案に自然成立はありません。世論と運動をさらに広げることによって、採決できない状態をつくれれば、廃案に追い込むことは可能です。私たちのこれまでの運動は、その可能性を切り拓いてきました。そこに確信をもち、必ず、この戦争法案を廃案にしようではありませんか。

戦後 70 年・被爆 70 年の夏、戦争か平和か、この国の針路が問われています。自由と民主主義、命が奪われ、あらゆるものに軍事が優先された時代を繰り返してはなりません。いま、多くの労働組合が、戦後の原点に立ち返って、「再び戦争のための仕事はしない」「戦争に協力する仕事はいやだ」と立ち上がっています。平和であってこそ、誇りを持って働くことができます。私たち労働者は、安倍政権がすすめる「海外で戦争する国」づくりをけっして認めることはできません。

全労連は、この戦争法案を必ず廃案にするために、総力をあげます。

「戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 8・30 国会 10 万人・全国 100 万人大行動」を一大決起の場として成功させましょう。9 月 2 日・9 日を中心に「戦争法案ゼツタイ廃案！ 全国統一行動」を展開し、職場集会、宣伝、地元議員への申し入れ、地域集会やパレードを、すべての組合員の参加で成功させましょう。労働法制改悪反対、原発ゼロ、辺野古新基地建設反対、社会保障を守れ、TPP 反対、教育を守れ、など様々な声や運動を総結集させ、安倍政権を退陣に追い込みましょう。さらに、この運動の中で多くの仲間と対話し、憲法を守りいかに運動の中心を担っている全労連を大きくしましょう。

職場で、地域で、やれることをすべてやりきって、戦争法案を葬り去りましょう。そして、すべての組合員の立ち上がりで歴史的なたたかいを展開し、憲法 9 条を守りぬきましょう。

2015 年 7 月 31 日

全国労働組合総連合第 52 回評議員会

3日特別委員会 開き直りの磯崎補佐官 辞任と安倍首相の任命責任は重大

8月3日13時からの参議院特別委員会冒頭で「法的安定性は関係なし」と安倍政権の本音を語った磯崎陽輔首相補佐官の参考人招致が行われました。

磯崎補佐官は、「軽率な発言により審議に多大な迷惑をかけたことお詫び申し上げます。もとより法的安定性の重要性を認識している。今回の安保法制は9条解釈の基本論理は全く変わらず、合憲性と法的安定性は確保されていると認識している。国政報告会で環境の変化も議論しなければならない事を述べる際、法的安定性は関係ないという表現を使ってしまった。発言を取り消すとともに関係者にお詫び申し上げます。また安保法制の成立時期に関する発言もお詫びする。個人の見立てを申し上げたが総理補佐官として不適切だった。今後は総理補佐官の職務に精励していく所存」などと答弁。発言を取り消すといながら、完全な開き直りを表明しています。

磯崎補佐官は直ちに辞任すべきであり、安倍首相はその任命責任にもとづき、補佐官の更迭、戦争法案を撤回しなければなりません。

参院特別委員会 8月4日以降の日程 … 傍聴しましょう！

◆当面の参院安保法制特別委員会の日程

○8月4日(火) 9時～17時(7時間) 集中審議 首相出席、NHK TVも入る

○8月5日(水) 10時～17時(6時間) 一般質疑

<8月7日(金)は定例日ですが開催されない見込みです>

傍聴希望は、憲法会議にお問い合わせください。

- ・憲法会議 TEL：03-3261-9007、FAX：03-3261-5453
- ・憲法会議(平井事務局長携帯) 080-1306-6303

とりくみ

【神奈川労連】横浜駅西口・高島屋前で署名・宣伝 シール投票も2時間で反対125人

戦争法案ゼツタイ廃案・安倍政権打倒推進
ニュース 第1号(7月30日)より

猛暑続きの毎日ですが、7月26日の国会包囲行動のあと、15時から17時、横浜駅西口・高島屋前で県社会保障推進協議会の仲間と保険医協会の医者・事務局の人たち、神奈川労連・福田議長も参加して、署名・宣伝行動を取り組みました。戦争法案は廃案しかない、医療・介護・年金など社会保障連続改悪や戦費調達消費税10%引き上げを公言する安倍政権は打倒するしかない。こうした声をリレートークし、若い夫婦や女性、中年男性、青年が次々署名に応じ、113筆が集まりました。戦争法案のシール投票は、反対125人・賛成14人で反対が圧倒的多数を占めました。



いまこそ、街頭に出て戦争法案廃案、安倍政権打倒を訴えるときです。

会館に垂れ幕。「神奈川労連はスゴイ」と電話が

憲法違反の「戦争法案」はゼツタイに廃案!!

【大阪府労組連（大教組・府職労）】 本当に止める。 毎金曜日の国会前抗議行動へ代表派遣

府労組連（大教組・府職労）は、戦争法の廃案をめざして、学習決起集会の開催、リーフレットの作成、昼休み宣伝、なんば宣伝など、あらゆるとりくみをすすめてきました。衆議院での強行採決を受けて国民の怒りと運動はいつそう大きくなり、参議院での徹底審議を通じて、廃案に追い込むための運動がいつそう重要です。

府労組連は、学習・宣伝など職場からのとりくみを強化するとともに、国会審議と連携したたたかいを展開し、組合員の積極的な運動への参加をめざし、毎週金曜日の国会前抗議行動へ代表を派遣します。

【京建労】 戦争法案は『憲法違反』 ／廃案は国民多数の願いになった

◆「連合通信・隔日版」150723 より

〈機関紙拝見〉戦争法案反対の伝え方（1）学習に役立つ紙面を追求／『建築ニュース』（京建労）

「戦争法案は『憲法違反』／廃案は国民多数の願いになった」という見出しを1面で打ち出しているのは、全京都建築労働組合（京建労）の『建築ニュース』（7月15日号）だ。

記事の中身は、6月13日に円山野外音楽堂で開かれた集会がベース。しかし、単なる集会の報道記事にはしなかった。機関紙を担当している川西熟・本部常駐執行委員は「私たちは必ず学習に活用してもらえるページをつくっている。集会の報告をするだけじゃもったいないと考えた」という。集会での発言を使いながら、なぜ反対世論が増えているのか、法案のどこが問題なのかが分かるような編集を心がけた。

子どもたちがミニポスターを掲げている写真が目を引く。「国民的な運動は家族も参加できるようなものであるべき。子育て中の分会役員たちにもアピールできる」（川西さん）。さらに、組合員がそれを張り出している姿を見せることで、本部からの行動提起にもなっている。

機関紙は2万人の組合員全員に手渡しで届く。末端の分会集会では出席者が紙面を読み合わせたり、記事を話題にして語り合ったりしている。機関紙を組合活動の軸に据えながら、地域から戦争法案反対の世論と運動を盛り上げたいと考えている。

【長野高教組】 元校長たちからも怒りの声

◆「連合通信・隔日版」150730 より

〈機関紙拝見〉戦争法案反対の伝え方／（4）元校長たちからも怒りの声／『長野高教組新聞』

『長野高教組新聞』7月20日付は、戦争法案反対アピールに賛同が広がっていることを特集した。特に、「元校長にも広がる怒りの声」「子どもたちに平和憲法9条を教えた一人として」の見出しが目を引く。

この取り組みは、県教組や私教連とも一緒に行っている。全教が呼び掛けている「全国教職員投票」は組合員を中心に実施。こちらの独自アピールは、管理職（現役・元職）や組合未加入の教職員を対象にしているという。7月1日に教育関係者26人が連名でアピール（「教え子・若者を再び戦場に送るな」私たちは「平和安全法制整備法案」「国際平和支援法案」に反対します）を発表。

元校長や元教頭といった管理職経験者から続々と賛同が寄せられていることを伝えている。7月半ばの時点で100人を超えており、中には現役校長の名前もあるという。

記事の中では、「安保闘争以来、これほど怒りに駆られたことはありません。子どもたちに平和憲法9条を教えた一人として、絶対に今回の法案を通さないように頑張ってもらいたい」「日本の将来の危機的

状況の中で何もできないでいる自分にとって、今回のお誘いは本当にありがたく、心から賛同します」「戦争法案に反対し、廃案を目指すことの緊要な時、有志によるこのようなアピールが寄せられたことに深く共鳴してやみません」といった元校長らのメッセージが紹介されている。

教宣を担当している丸山大樹書記次長は「氏名公表にOKをもらった校長ら71人の名前をどうしても紙面に載せたかった。その後、機関紙の読者からは『元校長の名前が出ていてうれしい』などの反応が返ってきている」という。

憲法闘争行動日程

8月4日(火)

◆とめよう！戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地

- * 憲法共同センターは、都内7カ所
- ・ 巣鴨駅→(変更) 地蔵通り商店街入り口 17時～18時
- ・ 新宿東口・上野マルイ前・御茶ノ水駅の3カ所は、毎週18時～19時
- ・ 四谷駅(8/4、8/11、8/25実施) 18時～19時
- ・ 西新橋1丁目交差点(毎週17時半～18:15)
- ・ 大塚駅(8/4、8/11、8/25の12時半～13時実施)

8月5日(水)

主催：国民大運動実行委員会など3団体

◆定例国会行動 12:15～13時 衆院第2議員会館前

8月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

*9月以降も

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

* 全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

8月9日(日)

◆「9の日」大行動 全国各地で

* 憲法共同センター、東京共同センターは、新宿駅西口 10:30～12:00

8月11日(火)、18日(火)、25日(火)

*9月以降も

◆とめよう！戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地

- * 憲法共同センターは、都内8カ所
- ・ 新宿東口・上野マルイ前・御茶ノ水駅の3カ所は、毎週18時～19時
- ・ 巣鴨駅(25日は行いません)・四谷駅(8/4、8/11、8/25実施) 18時～19時
- ・ 西新橋1丁目交差点(毎週17時半～18:15)
- ・ 茗荷谷駅(8/18、8/25の12時半～13:15実施)・大塚駅(8/4、8/11、8/25の12時半～13時実施)

8月26日(水)

◆議員要請&署名提出集会 主催：憲法共同センター

* 集会 14:00～15:00 * 議員要請 15:00～ * 衆院第1議員会館・多目的ホール

8月30日(日)

◆戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動

* 14:00～16:00 * 国会周辺

9月2日(水)、9日(水)

☆全労連 戦争法案ゼツタイ廃案！全国統一行動

9月10日(木)

◆議員要請&署名提出集会 主催：憲法共同センター

* 集会 14:00～15:00 * 議員要請 15:00～ * 場所未定